

SHIMANO

SPIN POWER

PF
POWER FISHING

スピパワー PF

取扱説明書

[KWガイド搭載振出投竿]

このたびは、シマノカーボンロッドをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

いかに軽くて丈夫なロッドでも、乱暴な取り扱いでは、竿を傷めてしまいます。

釣り人にとって、竿は大切な体の一部。

この説明書をお読みの上末永く、ご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

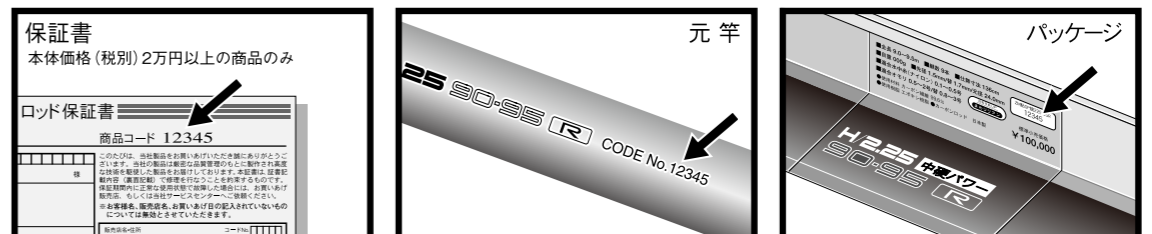
修理部品に関するお願い

パーツを注文される際には、必ず商品名と商品コード番号をお知らせください。

弊社では修理部品を商品コード番号によって分類しています。穂先交換などご自分で修理される場合には、商品コード番号をお知らせください。商品コード番号は、保証書「本体価格(税別)2万円以上の商品のみ添付しています」、本体元竿の商品名近く、もしくはパッケージのラベルに記載されています。商品コード番号を控えて、修理の際には必ず御提示ください。

●修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。
●修理対応期間につきましてはシマノ全国サービスネットにお問い合わせください。

※商品コード番号は、数字の5ケタになっています。(例) CODE No.12345



●ロッドの曲がりについて

現在のロッド生産技術上、グラスロッド、カーボンロッドの違いを問わず各部分の曲がりや100%排除することは不可能な状態です。特にカーボンロッドに於いては繊維自体の持つ強い剛性のため、ロッド全体に垂れ下がりが少ないので従来のグラスロッドに比べ曲がりやがどうしても立ちます。強度機能上は問題ありませんので、ご安心ください。

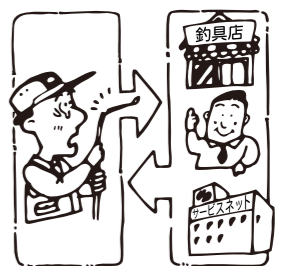
●改造後の責任は負いかねます。

改造後の故障については、保証期間中であっても負いかねる場合があります。ご注意ください。

●万一の故障は全国のサービスネットへ

お買い上げの販売店又は、お近くのシマノサービスネットへご連絡ください。その際、保証書付きの商品は保証書を添えてください。保証期間中の故障は、保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。保証期間経過後の修理、又は保証書無しの商品は、有料修理とさせていただきます。

※この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後6年間としています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。
性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性があります。



安全上のご注意 使用前に必ずお読みください。

危険



感電注意

電線との接触による感電 高圧線・線路・鉄橋等の電線による感電に注意してください。釣竿は素材特性上、電気をよく伝えます。特に電線等に接触、または、釣竿を近づけただけでも感電して死亡事故の原因となります。釣り場を移動する時は竿をたたみ、高圧線・線路・鉄橋等の電線の下または近くでは絶対に使用しないでください。

落雷による感電 落雷による感電に注意してください。使用中、雷が発生した時は、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。また、雷の発生がなくなると、釣竿から電気を感ずるようなときも同様に、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。

釣り場以外の電線による感電 釣り以外で釣竿を使用し、電線に触れる事故が発生しています。釣竿を使用する時は、周囲の安全に十分注意してください。



警告



キャスティング(投げる)時の注意 キャスティング(投げる)時は、周囲に人がいないか、十分に安全を確認してください。釣針が人にささったり、ルアーフック、オモリ等が人に当たると非常に危険です。



注意



固着のゆるめ方 釣竿の固着(継ぎ目が食い込んで外れない時)は、継目の両側近くに、すべり止めを当てて握り、互いに逆方向へヒネリながら押し(振出竿の場合)、継目をゆるめてください。その際、一気に力を入れると釣竿の継目に手をはさみ、けがをするおそれがあります。

根掛りの外し方 根掛り(水中、陸上での障害物に仕掛けが絡みはずれない状態)した時は、無理に竿をあおらないでください。竿が折れたり、外れた仕掛けが飛んできて、けがをするおそれがあります。根掛りは、出来るだけ、糸を手にとって引つ張って糸を切ってください。その際、糸で手を切ることがありますので、手袋やタオルで手を保護してください。

破損時の取り扱い方 使用中、万一釣竿が破損(折れ、割れ、欠け、剥離)した場合、破損した箇所を手などけがをするおそれがあります。



※本製品の本体には法律に基づき、竿による感電に注意して頂くよう注意喚起シールが貼ってあります。簡単にはがれないように、シールの上にコーティングしてありますので、はがさないようにお願いします。尚、印刷されている機種もあります。

太糸対応!! 大物遠投用

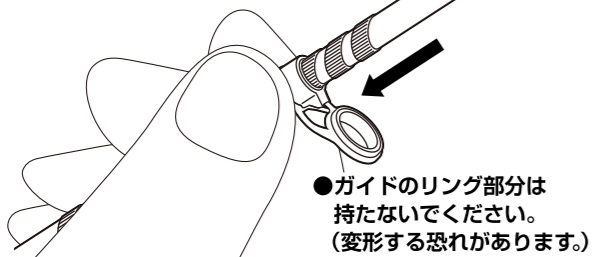
トータルガイドバランス設計

全長別に各ピースの長さを設定。並継ぎに迫るガイドバランス、トータルガイドホールシステム搭載により、トップキャストの要求に応える性能を実現しました。

トータルガイドホールシステム

遊動ガイドの回転を止め、ロッドの調子、曲がりやを損ないません。振出仕様のトラブルを防ぐために、システム的に機能を追求しました。

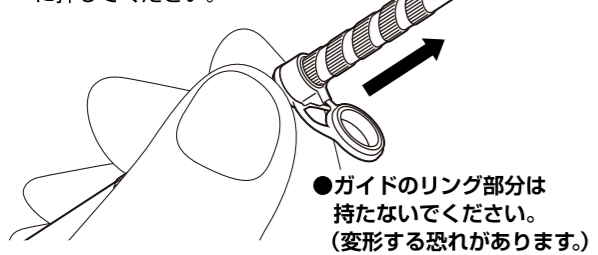
1 ガイドラインに沿って図のようにガイドの根元を持ってまっすぐ押し込んでください。



●ガイドのリング部分は持たないでください。(変形する恐れがあります。)

2 ローレットがかみ合い、抵抗がかかった所でしっかり固定してください。

3 ガイドをはずす時は、ガイドの根元を指でまっすぐ逆方向に押し込んでください。



●ガイドのリング部分は持たないでください。(変形する恐れがあります。)

●ローレットの数が決まっているので、それ以上の微調整ができません。ただし、実用上問題のないレベルに配列できます。

バランスウェイト尻栓

竿本体には、軽量タイプのノーマル尻栓を採用。さらに、付属品としてスウィングバランスを変えたり、置竿時にロッドを安定させるバランスウェイト尻栓を採用しました。

●ノーマル尻栓 約13g ●バランスウェイト尻栓 約78g

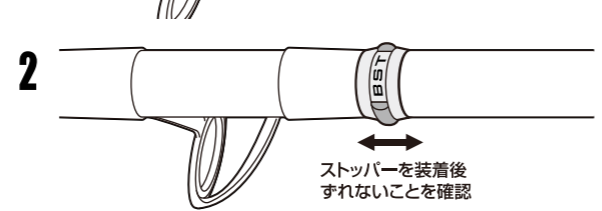
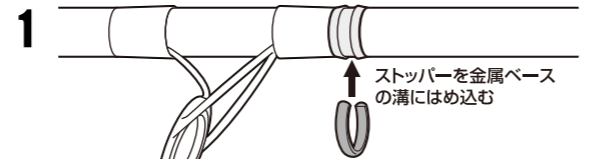


※バランスウェイト尻栓装着時は、仕舞寸法が1cm長くなります。

BST(ブランクstopper)の取り扱い

尻栓を外して洗浄、修理等を行う際、ガイドの糸巻き部分を元竿の玉口で傷つけないようにするためのstopperです。図のように金属部分にはめ込んで上下にずれないことを確認してから、尻栓を外して洗浄、修理等の作業を行ってください。なお実釣時は必ず外してからご使用ください。

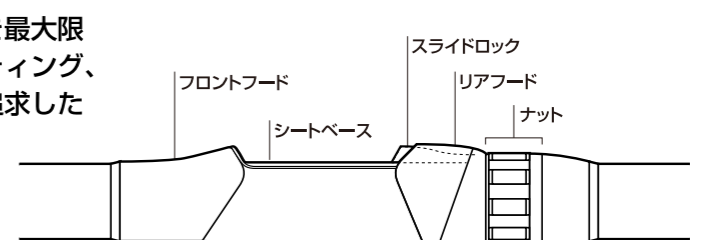
●stopperの装着方法



●stopperを装着後ずれないことを確認

大物対応リールシートSCPS(Shimano Casting Power Seat)

キャスティング時、リーリング時にパワーを最大限に発揮できるホールド性能と激しいキャスティング、リーリング時に、ゆるみにくい固定性能を追求したシマノオリジナルリールシートです。

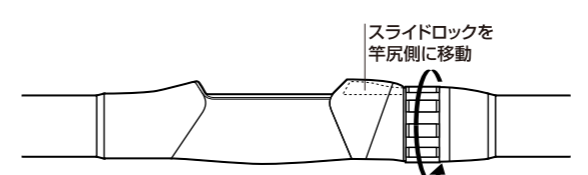


●適合リール

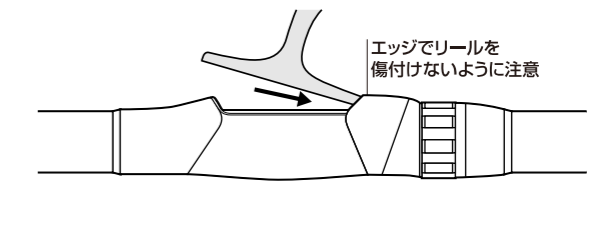
リールの足の長さが、66~70mmの投専用リールに適合します。(その長さの範囲でも、形状によってはガタつく場合や、入らない場合があります。)

●リールの取り付け方

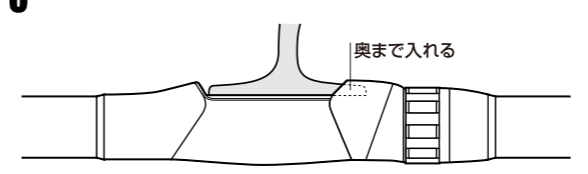
1 ナットを竿尻側に向かって反時計回りに回して、スライドロックを竿尻側に止まるまで移動させます。止まってから無理に回さないでください。固着などの不具合が発生する恐れがあります。



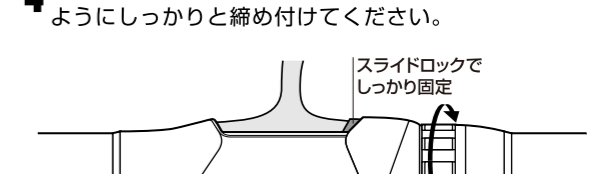
2 リールの足の後端をリアフード側に差し込みます。



3 リールの足裏を、シートベースに密着させます。



4 ナットを時計回りに回しながら、リールがガタつかないようにしっかりと締め付けてください。



●リールの取りはずし方

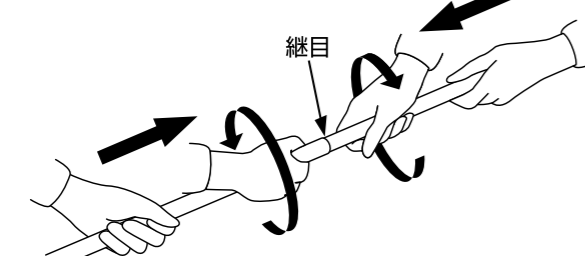
ナットを反時計回りに回して、スライドロックを竿尻側に止まるまで移動させて、先にリールの足の先端を浮かせてから後端を抜いてください。

- スライドロックを竿尻側に止まるまで移動させた時、止まってから無理に回さないでください。固着などの不具合が発生する恐れがあります。
- リールを取り付け、取りはずしの際に、リアフードのエッジ部分でリールの足を傷付ける場合がありますので、注意して抜き差しをお願いします。
- リールをセットしない状態で、ナットを時計回りに回し続けると、スライドロックが脱落します。はずれた場合は、もとの場所にセットし、竿尻側に押しながらナットを反時計回りに回して装着してください。予備のスライドロックを保証書封筒に入れてありますので紛失の際はご使用ください。
- フード内部に砂やゴミ等が付着した場合、ぬるま湯等で洗い流してください。

継目の固着について

継目がとれにくくなった場合

図のように2人で向き合い、継目に近いところをしっかりと握ります。お互いに、逆方向にゆっくりとネジリながら押し、継目をゆるめてください。



その際、ガイドは決して持たないでください。(ガイド部分破損の恐れがあります。)

いわゆる固着は、水が付着した時や投げの力や魚の強い引きなどで多かれ少なかれ起きます。力まかせに、無理やり外そうとすれば、竿を傷めてしまいます。左記のような要領で行なってください。それでも無理なときは、シマノサービスネットにご相談ください。

ご使用後のお手入れ

釣行後のお手入れもお忘れなく

水洗いをして、汚れや塩分をきれいに落とすあと、水気をふきとります。このあと、風通しのよい場所で、日陰干しをして、水気を完全にとってください。ロッド部はシリコンクロスなどでらぶき。ガイドやリールシートは防錆スプレーを。こうしておけば、塗装部の水ぶくれ(ブリスト)や、金属部のサビなどをシャットアウトできます。

車のトランクルームなどに長期間放置しないでください。

高温、密閉状態での長期間放置は、ロッドの大敵。釣行後は、上記の要領で手入れのあと、風通しの良い場所にしてください。



タワシ・みがき粉・ベンジン及びシンナー等のご使用は絶対に避けてください。

ロッドの汚れは、真水又はぬるま湯で洗った後、乾いた布でよく拭きとってください。注)市販のロッドクリーナーやワックス、洗剤等をご使用になる場合はくれぐれも注意してください。ロッドによっては塗装及び時にはロッドまで傷める原因になります。

竿の表面を布等で強くこすると、塗装の種類によっては色落ちが発生する場合がございます。ただし、塗膜そのものが剥離したり、ロッドの機能に影響を及ぼす恐れはございませんので、あらかじめご了承くださいませ。また、衣服等に色が付く場合がありますのでご注意ください。

SHIMANO FISHING ROD

フィッシングロッドを末永くお使いいただくために

フィッシングロッド 取扱説明書

このたびは、シマノフィッシングロッドをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。いかに軽くて丈夫なロッドでも、乱暴な取り扱いでは、竿を傷めてしまいます。釣り人にとって、竿は大切な体の一部。この説明書をお読みの上末永く、ご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

SHIMANO

安全上のご注意 ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 危険	<p>高圧線への接近による放電や感電、さらに落雷による感電は、最悪の場合重大事故(感電死)を招く恐れがあります。尚、水に濡れたグラスロッドも同様の危険がありますのでご注意ください。</p> <p>気象条件により、空気に電気を帯びている場合があります。ビビリと電気を感じるのとは為です。天候の変化等により危険を伴いますので、そうした場所での釣りはお避けください。落雷・感電による感電死を招く恐れがあります。</p> <p>電線との接触による感電 高圧線・線路・鉄橋等の電線による感電に注意してください。釣竿は素材特性上、電気をよく伝えます。特に電線等に接触、または、釣竿を近づけただけでも感電して死亡事故の原因となります。釣竿を移動する時は竿をたたみ、高圧線・線路・鉄橋等の電線の下または近くでは絶対に使用しないでください。</p> <p>落雷による感電 落雷による感電に注意してください。使用中、雷が発生した時は、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。また、雷の発生がなくても、釣竿から電気を感ずるようなときも同様、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。</p> <p>釣り場以外の電線による感電 釣り以外で釣竿を使用し、電線に触れる事故が発生しています。釣竿を使用する時は、周囲の安全に十分注意してください。</p>
⚠ 警告	<p>キャスト(投げ)時の注意 キャスティング(投げ)の時は、周囲に人がいないか、十分に安全を確認してください。釣針が人にささったり、ルアーフック、オモリ等が人に当たると非常に危険です。</p>
⚠ 注意	<p>固着のゆるめ方 釣竿の固着(継ぎ部が食い込んで外れない時)は、継ぎ目の両側近くに、すべり止めを当てて握り、互いに逆方向へヒネリながら押し(振出竿の場合)、継ぎ目をゆるめてください。その際、一気に力を加えると釣竿の継ぎ目に手をはさみ、けがをするおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●竿の構造上、固着を完全に防止することはできません。固着をゆるめる時等、強く竿を握ると竿が潰れて破損し、手等に怪我をする場合がありますのでご注意ください。 ●固着をゆるめる時等、ガイド部分を握って節の抜き差しはしないでください。ガイドの変形や糸止部の破損の原因になり、手等に怪我をする場合がありますのでおやめください。 <p>根掛かりの外し方 根掛かり(水中、陸上での障害物に仕掛けが絡みはすれない状態)した時は、無理に竿をあおらないでください。竿が折れたり、外れた仕掛けが飛んできて、けがをするおそれがあります。根掛かりは、出来るだけ、糸を手にとって引っ張って糸を切ってください。その際、糸で手を切ることがありますので、手袋やタオルで手を保護してください。</p> <p>破損時の取り扱い方 使用中、万が一釣竿が破損(折れ、割れ、欠け、剥離)した場合、破損した箇所を手などがけをするおそれがあります。</p> <p>子供の手の届く所に置かないでください 誤使用による事故や怪我に繋がる恐れがあります。</p> <p>釣竿を釣り以外の目的に使用しないでください 事故や怪我につながる恐れがあります。</p> <p>竿の一部や穂先等を無理に曲げると折れることがあります 折れた竿の一部が反動で顔や体に当たり、怪我をする恐れがありますのでご注意ください。</p> <p>安全に釣りを頂くために 万一、竿が破損してしまった場合、破損した竿の一部が反動で顔や体に当たり、怪我をする恐れがあります。釣りをする際は、安全のためサングラス(偏光グラス)、帽子の着用をお勧めします。</p>

※本製品の本体には法律に基づき、竿による感電に注意して頂くよう注意喚起シンボルシールが貼ってあります。簡単にはがれないように、シールの上にコーティングしてありますので、はがさないようお願いいたします。尚、印刷されている機種もあります。

フィッシングロッド取扱い上の注意

使用上のご注意

- ガイド付き振り出し竿の場合・・・**
 - トップカバーをはずす時は、真上に引き抜くようにしてください。無理にひねったり、こじったりすると穂先を折ることがあります。
 - 移動ガイドは、確実にセットしてください。また、ガイドに道糸を通し忘れないよう注意してください。それらが原因で穂先を折ることがあります。
 - 糸ガラムシは、確実に道糸を巻き込まないでください。竿の一部に無理な力がかかり折れることがあります。
- ガイドなし竿の場合・・・**
 - 上栓をはずす時は、真上に引き抜くようにしてください。無理にひねったり、こじったりすると玉口部分を傷つけることがあります。
 - 糸ガラムシは、確実に道糸を巻き込まないでください。竿の一部に無理な力がかかり折れることがあります。
- ガイド付き並継ぎ・印籠継ぎ竿の場合・・・**
 - 竿を継いで伸ばす際、前後のガイドのセンター合わせをすると同時に継ぎ部の合わせをしっかりと行ってください。合わせが緩いと、キャスト時に合わせが抜ける恐れがあります。
 - フルキャストを繰り返す場合、定期的には継ぎ部の合わせ具合をご確認ください。合わせが緩いと、キャスト時に合わせが抜ける恐れがあります。
 - 竿を継いで伸ばしたり、あるいは仕舞う際に、ガイド部を持って捻じったりしないでください。ガイドの破損、ガイドの変形、厚塗り部の割れや剥離、糸巻きが破損する恐れがあります。
- ロッドホルダー、ロッドクランプを取り付ける場合・・・**
 - かかり竿・船竿については、金属製ロッドホルダー及び金属製ロッドクランプの使用時において強い締付を行ないますと、締付部(素材等)の破損が生じる恐れがあります。この様な破損による損害については当社としては補償しかねますのであらかじめ御了承ください。
- スピゴットフェール(印籠継ぎ)の場合・・・**
 - スピゴットフェール(印籠継ぎ)部は隙間があくように設計されています。これは季節や環境の変化による合わせ部の膨張、収縮と磨耗に対応するためのものです。充分強度を持たせており使用上の問題はありませので安心してお使いください。無理矢理差し込んだりすると口割れをおこしたり、ぬげなくなる恐れがありますので、必要以上に差し込まないでください。
- ソリッド穂先に関するご注意・・・**
 - 穂先に用いられるソリッド材料は、カーボン或いはグラス繊維が一方向のため、トップガイドなどを持って捻ると破損の恐れがあります。ガイドを持って捻らないでください。
- リールシートに関するご注意・・・**
 - リールを取り付けていない状態で、ナットスクリーを締め込みすぎると破損する恐れがあります。フードの位置がリール脚の長さよりも短くなるまで締めないでください。

- ガイドなし振り出し竿の場合・・・**
 - 固着したところより細い(穂先方向)部分を、まず抜き取ります。元竿の中に仕舞い込んだロッドはそのままにして、板面等それほど硬くない水平な面に垂直に立てて持ちます。元竿や仕舞い込んだロッドを誘導管にして、ストン、ストンと落とせば意外に簡単に外れます。このとき、タオルや段ボールなどを敷いておけば、より安心です。
- ガイド付き振り出し竿の場合・・・**
 - 並継ぎ竿と同じ要領です。お互いに逆方向にネジリながら、ゆっくりと押し込みあいます。
- この時、竿に手をはさむ場合がある場合、手袋をつける等してご注意ください。**
 - この時、仕舞う節の継ぎ部付近をそれより太い節の玉口内側に当たらないように注意してください。玉口の端で細い節を傷める恐れがあります。仕舞う時に傷めると、次回釣行時に荷重がかかった際に破損する恐れがあります。
- この時、仕舞う節の継ぎ部付近をそれより太い節の玉口内側に当たらないように注意してください。玉口の端で細い節を傷める恐れがあります。仕舞う時に傷めると、次回釣行時に荷重がかかった際に破損する恐れがあります。**
- この時、仕舞う節の継ぎ部付近をそれより太い節の玉口内側に当たらないように注意してください。玉口の端で細い節を傷める恐れがあります。仕舞う時に傷めると、次回釣行時に荷重がかかった際に破損する恐れがあります。**

継ぎ目がとれにくくなった場合

- 並継ぎ・印籠継ぎ竿の場合・・・**
 - スベり止めのゴムシートや輪ゴムを当てて、図のように2人向きあひ、継ぎ目に近いところをしっかりと握ります。お互いに、逆方向にゆっくりとネジリながら引き抜きます。
- 継ぎ目に砂が入った場合・・・**
 - 振出し竿は、元竿の下栓を外し、一本一本抜き出して、竿の内側をていねいに手入れしてください。ガイド付きの竿は、下栓を外し、よく水洗いをして砂を流したあと、風通しの良い場所に日陰干しをしてください。
- いゆる固着は、水が付着した時や投げの力や魚の強い引きなどで多かれ少なかれ起きます。力かせに、無理やり外そうとすれば、竿を傷めてしまいます。上記のような要領で行ってください。それでも無理なときは、シマノサービスネットにご相談ください。**

その他のご注意

- 竿が曲がる際に、糸巻き部の厚塗りが竿の曲がり追随できず、ひびが入ることがありますが、ガイドやリールシートの固定力には問題ありません。現在の生産技術上、ひび割れを防ぐことはできない状態です。あらかじめご了承ください。
- 竿は一本一本、手作業で仕上げられています。そのため、商品により色調や質感に若干の差が生じる場合がありますがご了承ください。

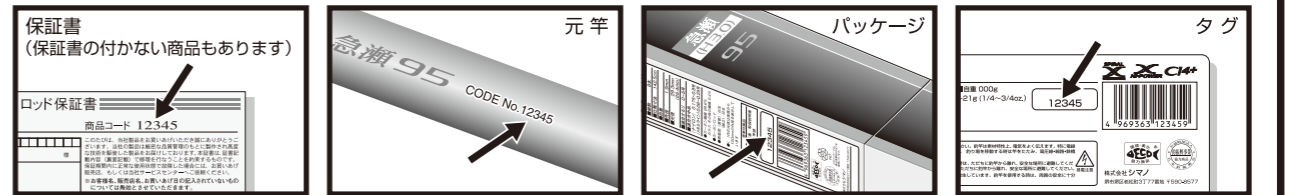
釣行後のお手入れもお忘れなく

- 水洗いをして、汚れや塩分をきれいに落とし、水気をふきとります。このあと、風通しの良い場所で、日陰干しをして、水気を完全にふきとってください。ロッド部はシリコンクロスなどで空ぶき。ガイドやリールシートは防錆スプレーを。こうしておけば、塗装部の水ぶくれ(プリスタ)や、金属部のサビなどをシャットアウトできます。
- タワシ・みがき粉・ベンジン及びシンナー等のご使用は絶対に避けてください。**
 - ロッドの汚れは、真水又はぬるま湯で洗った後、乾いた布でよく拭きとってください。注)市販のロッドクリーナーやワックス・洗剤等をご使用になる場合はくれぐれも注意してください。ロッドによっては塗装及び時にはロッドまで傷める原因になります。
- 車のトランクルームなどに長期間放置しないでください。**
 - 高温、密閉状態での長期間放置は、ロッドの大敵。釣行後は、上記の要領で手入れのあと、風通しの良い場所にしまってください。
- 竿の表面を布等で強くこすると、塗装の種類によっては色落ちが発生する場合がございます。ただし、塗膜そのものが剥離したり、ロッドの機能に影響を及ぼす恐れはございませんので、あらかじめご了承くださいませ。また、衣服等に色が付く場合がありますのでご注意ください。**

修理部品に関するお願い

- パーツを注文される際は、必ず商品名と商品コード番号をお知らせください。
- 弊社は修理部品を商品コード番号によって分類しています。穂先交換など自分で修理される場合には、商品コード番号をお知らせください。商品コード番号は、保証書(保証書の付かない商品もあります)、本体元竿、パッケージのラベル、タグ等に記載されています。商品コード番号を控えて、修理の際には必ず御提示ください。
- 修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。修理対応期間につきましてはシマノ全国サービスネットにお問い合わせください。

※商品コード番号は、数字の5ケタになっています。(例) CODE No.12345



●ロッドの曲がりについて

現在のロッド生産技術上、グラスロッド、カーボンロッドの違いを問わず各部分の曲がりを100%排除することは不可能な状態です。特にカーボンロッドに於いては繊維自体の持つ強い剛性のため、ロッド全体に垂れ下がりがないので従来のグラスロッドに比べ曲がりかどうしても目立ちます。強度機能上は問題ありませんので、ご安心ください。

●改造後の責任は負いかねます。改造後の故障については、保証期間中であっても負いかねる場合があります。ご注意ください。

●万一の故障は全国のサービスネットへ。お買い上げの販売店又は、お近くのシマノサービスネットへご連絡ください。その際、保証書付きの商品は保証書を添えてください。保証期間中の故障は、保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。保証期間経過後の修理、又は保証書無しの商品は、有料修理とさせていただきます。

※この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外には製造中止後6年以内でも供給できない可能性があります。

